

みずほCustomer Desk Report 2023/01/13号(As of 2023/01/12)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	132.00
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	131.86	1.0764	142.01	1.2165	0.6909
SYD-NY High	132.43	1.0867	142.35	1.2247	0.6984
SYD-NY Low	128.85	1.0730	140.04	1.2089	0.6877
NY 5:00 PM	129.30	1.0851	140.32	1.2213	0.6967
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,189.97	216.96	日本2年債	0.0400%	0.0200%
NASDAQ	11,001.11	69.43	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	3,983.17	13.56	米国2年債	4.1426%	▲0.0764%
日経平均	26,449.82	3.82	米国5年債	3.5366%	▲0.1240%
TOPIX	1,908.18	6.93	米国10年債	3.4428%	▲0.0992%
シゴ日経先物	26,225.00	▲ 325.00	独10年債	2.1290%	▲0.0520%
ロンドンFT	7,794.04	69.06	英10年債	3.3285%	▲0.0765%
DAX	15,058.30	110.39	豪10年債	3.5930%	▲0.1400%
ハンセン指数	21,514.10	78.05	USDJPY 1M Vol	15.70%	1.54%
上海総合	3,163.45	1.61	USDJPY 3M Vol	14.08%	1.33%
NY金	1,898.80	19.90	USDJPY 6M Vol	12.95%	0.97%
WTI	78.39	0.98	USDJPY 1M 25RR	▲1.78%	Yen Call Over
CRB指数	273.77	2.50	EURJPY 3M Vol	13.14%	1.01%
ドルインデックス	102.25	▲ 0.94	EURJPY 6M Vol	12.54%	0.78%

東京	早朝の「日銀が来週の金融政策決定会合で大規模緩和の副作用を検証する」との報道をうけ、ドル円は131.80台まで急落。東京時間は131.86レベルでオープンすると、仲値にかけて132円台を回復するも、その後は日銀政策修正への思惑から軟調に推移し、131.69レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は131.69レベルでオープン。午後に米12月CPIの発表を控えて、米長期金利が低下する動きに、ドル円も連れ安。一本調子で下落し、130.67レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場ではCPI結果発表を前に、日銀が大規模緩和の副作用を点検するとの報道を受け、金融政策変更の思惑に円買いが強まり130.63まで下落し、130.67レベルでNYオープン。朝方は、CPI結果発表を前に、弱い結果期待からドル売りが先行し、130.35まで下落するが、予想と一致したことから一旦ドルが買い戻される展開に131.20まで反発。しかしその後のハーカー・フィラデルフィア連銀総裁の「25bpの利上げを支持する」との発言やブラッド・セントルイス連銀総裁の「インフレは高すぎるが落ち着いてきている」との発言からドル売りが強まる中、米30年債の入札結果も良好であったことから、昨年の6月1日以来のレベルである128.85まで下落。午後は調整の動きから129円台まで値を戻し、129.30レベルでクローズした。一方、ユーロドルは米CPI結果発表を控え1.0760付近での推移が続き、1.0763レベルでNYオープン。朝方はCPI結果を受け、一旦上下するものの、ドル売りに1.0845まで上昇する。その後は一旦利食い売りが持ち込まれ1.0752まで反落するが、再びドル売りが強まったことから昨年4月21日以来のレベルである1.0867まで上昇。午後は、1.0850付近での閑散な推移が続き、1.0851レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・鈴木

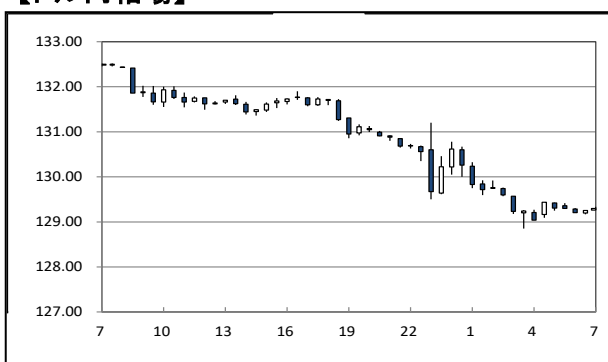
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
1月12日	10:30	中	CPI(前年比)	12月	1.8%	1.8%
	22:30	米	CPI(前月比/前年比)	12月	-0.1%/6.5%	-0.1%/6.5%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	7-Jan	205K	215K

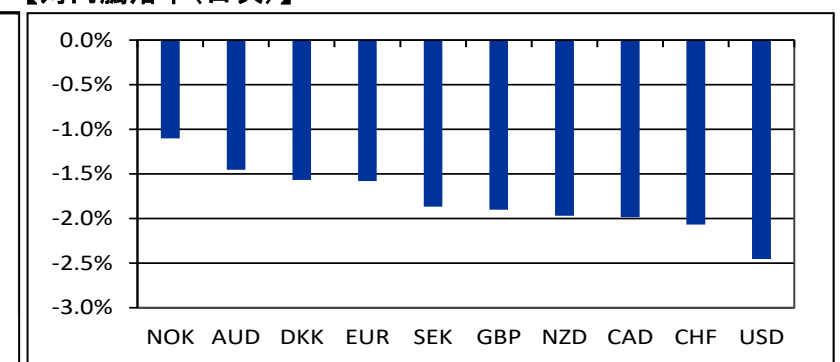
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
1月13日		中	貿易収支	12月	\$76.90B	\$69.25B
		中	輸出/輸入(前年比)	12月	-11.1%/-10.0%	-8.9%/-10.6%
1月14日	00:00	米	ミシガン大学消費者マインド・速報	1月	60.7	59.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	128.00-130.50	1.0770-1.0900	139.50-141.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、アジア時間早朝に日銀が1月会合で大規模緩和の副作用を点検するとの報道をうけ、131円台後半に下落すると、その後も軟調な動きが継続。注目された米CPIは予想通りインフレの伸び鈍化を示す内容となったほか、FRB高官のタカ派姿勢を弱める発言や、米30年債の入札結果の強い結果を受け長期金利が低下すると、ドルは一段安となり、一時128.85まで下落、NY時間後半に小幅反発し129.30レベルでクローズ。本日のドル円は上値の重い展開を予想する。昨日の米国CPIでインフレの伸び鈍化が示され、FRBによる金融引き締め姿勢を軟化させる見方が再び広まる中、ドルの軟調地合いは継続しそう。本日米国ではミシガン大消費者信頼感指数速報値の公表が予定されるが、市場予想を下回る場合、一段の円高ドル安には警戒したい。来週17-18日に日銀政策決定会合を控え、引き続き日銀の政策修正への思惑も燃る中、ドル円は上値の重い展開を予想する。